

2024年7月16日

大正製薬と森永乳業がビフィズス菌の啓発活動で協業

「Bkins(ビーキンズ)」

～20代に向けた取り組み開始～

森永乳業株式会社[本社:東京都港区、社長:大貫 陽一](以下、森永乳業)は、大正製薬株式会社[本社:東京都豊島区、社長:上原 茂](以下、大正製薬)と、ビフィズス菌の認知拡大や特徴の理解促進に向けて協業し、7月16日より20代の社会人を中心としたコミュニケーション活動の共同プロジェクト「Bkins(ビーキンズ)」を開始します。



大正製薬



森永乳業

■協業の背景

近年、大腸は全身の健康の要となっていることが明らかになってきていますが、その中でも、新生児から大腸に棲み、年代問わず健康に役立つ善玉菌の代表格であるビフィズス菌は、健康に有益な菌として各企業がさまざまな研究・商品開発を行っています。昨今では、自社商品への活用だけでなく、BtoB市場での販売も進んでおり、直近では、機能性素材の中でもビフィズス菌は、高い市場伸長率^{※1}が予測されています。

大正製薬^{※2}・森永乳業^{※3}はビフィズス菌のリーディングカンパニーとして、ビフィズス菌の研究開発に二社ともに取り組んでまいりました。本プロジェクトに先立ち、両社で行った調査によると、腸の健康をケアする「腸活」が浸透してきたことにより、20代～60代男女のビフィズス菌の認知率は84.9%におよぶ一方で、その特徴を知っている人は4割程度にとどまり、その中でも20代が32.0%と最下位となっています^{※4}。ビフィズス菌は年齢とともに減少することが明らかにされており、自分のために食や素材にまつわる選択を意識するようになる20代からの理解促進が大切だと考えられますが、健康課題に直面しにくい世代であり素材への興味関心が低いことから、二社それぞれの啓発活動の中でもアプローチの難しさが課題でした。しかし、近年、「美容」や「プロテイン」などへの関心を通して、美容や健康促進目的の行動が高まってきているとされています。

そのような背景から、「腸活」を通じてビフィズス菌やその特徴を20代の社会人を中心にもっと知っていただくと考え、大正製薬と森永乳業が協業した新プロジェクト「Bkins」の実現に至りました。本活動では、「腸活するならビフィズス菌」をキーメッセージに、日頃より美容や身体づくりへの意識が高い20代にアプローチするコミュニケーション活動を7月16日より開始します。

※1:(株)富士経済「生物由来有用成分・素材市場徹底調査2024」ビフィズス菌カテゴリー 2023年見込/2030年予測 市場伸長率 金額規模

※2:インテージ SRI+ OTC 整腸薬市場 累計販売金額 2022年度(2023年3月時点)

※3:(株)富士経済「生物由来有用成分・素材市場徹底調査2024」ビフィズス菌カテゴリー2022年実績

※4:大正製薬、森永乳業調べ「腸活に関する意識調査」2024年5月 n=1500

■共同プロジェクト「Bkins(ビーキンス)」の取り組み

20代に向けて、「腸活」の大切さやビフィズス菌の特徴についての理解を深めることを目指し、7月16日の意識調査結果の発表をはじめとして9月以降順次、SNSを中心に情報発信を行っていきます。

<企画概要>

「Bkins」は、ビフィズス菌の特徴への理解が十分ではない20代の社会人を中心として、大正製薬と森永乳業がコラボレーションをし、日々の食事や身近なトレンドと「腸活」およびビフィズス菌の関わりを表現しながら摂取の大切さに関する情報を発信する、啓発プロジェクトです。素材に少しでも親しみを感じていただけるよう、「ビフィズス菌」の略称と、ひとりではなく皆で取り組むことをイメージして、「Bkins(ビーキンス)」と名付けました。

<ロゴ>

ビフィズス菌を爽やかな青色のイメージカラーで表現し、健康課題に向き合いながらも自分らしい強さを表現するため、発色の良い青色・赤色を活用したタイポグラフィーで表現しました。また、ビフィズス菌の代表的な形状の「Y」を、隠れ文字でデザインに入れています。



<施策内容>

1. 意識調査※4

20代～60代の男女を対象とした美容・健康に対する意識・行動や具体的な腸活の取り組み実態、ビフィズス菌に対する認知・理解状況などの調査結果を発表します。

2. SNS

①YouTube

真剣に筋力トレーニングに打ち込む層、ボディメイクを意識する層、体型維持やダイエットなどに取り組む層、各層ごとに人気のインフルエンサーにご協力いただき、プロテイン摂取と腸活を両立する方法について発信していきます。



中川翔子さん

2002年に芸能界デビューして以降、数々のテレビドラマやバラエティ番組に出演し「しょこたん」の愛称で幅広い層から人気を集める。サブカルチャーに造詣が深いことで有名。YouTubeではダイエットに取り組む動画を定期的に投稿している。



トレびなさん

ダイエットを何度も失敗した経験からみんなには楽しく成功して欲しいと思い、YouTube「トレびな“脱ムチ子”」チャンネルを開設。「明日やろうは、やらんけん！」を合言葉にした、部位ごとにやせるトレーニングメニューは書籍にもなるほど人気急上昇中。



山本義徳さん

静岡県出身のボディビルダー、トレーニング指導者。最前線で活躍するプロ野球選手をはじめ、多くのトップアスリートを指導している。「筋肉博士」の異名を持ち、2019年に開設したYouTubeチャンネル「筋トレ大学」は筋トレを始めた人のバイブルとなっている。

②TikTok

公式アカウントを開設し、1話完結型のショートドラマを発信します。TikTok Awards Japan 2022 を受賞するなど実績・人気ともに日本一のショートドラマクリエイターである「ごっこ倶楽部」に制作を依頼し、動画を楽しみながら、腸活やビフィズス菌にも注目したくなるような情報発信を行っていきます。



ごっこ倶楽部は2021年5月に結成した『日常で忘れがちな小さな愛』をテーマにWEBREEN（WEB + SCREEN）を作り続けているクリエイター集団です。これまで制作・投稿した動画は800本、累計再生数は30億回（2024年3月時点）を突破。再生数、フォロワー数、いいね数においてショートドラマカテゴリーの中で日本No.1。これからの時代のドラマ表現のあり方を世の中に提示し続けています。

③Instagram

美容にも腸内環境が重要なことから、ウェディング系メディアと連携して、プレ花嫁を対象に腸活やビフィズス菌についての情報を提供し、花嫁美容の状況を Instagram に投稿して共有していきます。



■ビフィズス菌について

ビフィズス菌は、ヒトや動物の腸内フローラに存在し、全身の健康に良い影響を与える、善玉菌の一種です。主に、大腸内に棲息し、乳酸だけでなく酢酸（短鎖脂肪酸）を生成することで、悪玉菌の増殖を防いで腸内環境を整える働きがあります。国内外で多くの研究がされており、これまでに、「腸内環境の改善」「花粉症予防」「抗アレルギー」など、人の健康に関係するさまざまな研究報告がなされています。

■森永乳業株式会社

森永乳業は、1917年に日本煉乳株式会社として創業し、牛乳、飲料、ヨーグルト、アイスクリーム、チーズをはじめ、育児用ミルク、栄養補助食品、流動食など幅広い商品を展開してまいりました。1969年に乳児から『ビフィズス菌 BB536』を発見し、50年以上にわたってビフィズス菌や腸内フローラの研究に取り組んでいます。一般的にヒトのおなかに棲む種類のビフィズス菌は酸や酸素に弱いのですが、「**ビフィズス菌 BB536**」は酸や酸素に強く、自社にとどまらず、さまざまな企業のヨーグルトやサプリメントなど幅広い商品で取り扱いいただいています。また、「菌体事業の拡大」に向け、「**ビフィズス菌 BB536**」は、食品の安全性や栄養に関する審査制度、中国「新食品原料」登録や米国「GRAS」認証などを取得し、大手育児用ミルクメーカーとの取り組みや海外各国でのサプリメントなどの販売も強化しています。

■大正製薬株式会社

大正製薬は、1912年(大正元年)に創業して以来、100年以上にわたり一貫して生活者の方々の健康をサポートすることを目指してまいりました。時代や生活者ニーズの変化に合わせて革新を続け、近年では、リポビタミンDやパブロンといった医薬品だけでなく、未病・健康な時から対処していただける健康食品や美容商品への展開も行っております。さらに最近では、セルフメディケーション推進の一環で「腸活」「腸内細菌」の分野にも着目しております。腸内環境はさまざまな身体の不調と密接に関わっていることが解明されてきている中、自分の健康は自分で守る「自助」の考えを浸透させるためにも、今まで以上にこの分野にも力を注いでまいります。

以上